

JACET Kansai Newsletter

No. 76 November 1, 2016

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 小栗 裕子 (滋賀県立大学) (Chapter President: Yuko Oguri, University of Shiga Prefecture)

事務局: 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26 大阪樟蔭女子大学 藤澤 良行研究室内

(Chapter Office: c/o Yoshiyuki Fujisawa, Osaka Shoin Women's University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左のURLからご連絡下さい)

「秋の夜長に耳をすませて」

藤澤良行 (関西支部総務幹事)

今年度事務局担当の藤澤です。本ニューズレターの差出人住所は私の勤務先 (大阪樟蔭女子大学) です。「巻頭のことば」としてはちょっと personal になりますが、お許し下さい。

◎ Bob Dylan

2016 年秋、シンガー&ソングライターのボブ・ディランにノーベル文学賞が与えられるというニュースが世界を駆け巡った。日本では村上春樹が今年こそという期待でいっぱいだったが、ディランの受賞も少し前から噂されていたことは、アメリカ文学に興味を持つ者にとっては有名な話だった。

翌朝授業に行くとき一人の学生から声をかけられた。昨夜のノーベル文学賞ってあの人ですよねと言う。思い出した。春期に学部全体で先生が自分の専門を語るオムニバス形式の大講義があり、私は「英詩」の話をした。英詩には強弱や弱強のリズムがあるとか、行末に韻を踏むとか、いくつか易しいと思われる英詩を例に取り上げて、英語には全く興味を持っていない、あるいは、できるだけ英語は避けたいと願って退屈そうにしているのが大半の学生たちに向かい、孤軍奮闘で語りかけた (アクティブ・ラーニングからほど遠くてすみません)。この授業で最後に取り上げた作品がディランの「風に吹かれて (Blowin' in the Wind)」だった。英語の音の良さを聴かせるのであれば、同時代のピーター、ポール&マリーの美しいハーモニーを選ぶべきだったが、その時には若きディランの、歌詞の聞き取りにくいダミ声の歌を聴かせた。曲そのものは音楽の教科書に載っていたから知っているが、この曲ができた時代背景や歌詞そのものへの関心はそれほどなかったという学生の反応が多かった。確か曲を聴かせる時に彼はノーベル文学賞の候補者だとも付け加えたと思う。その時には半ば冗談だったが本当に受賞するとは。

朝私に声をかけてくれた学生に、よく覚えていたねと褒めると、あのダミ声がとても印象に残ってい

てニュース映像を見た時に授業のことを思い出しましたと言ってくれた。少ないながらもこういう学生からの反応があるとうれしくなる。そう、人の声は何か言葉になる以上のことを伝えるのである。

◎ 英語教育の達人たち

私は個人的に「耳学問」という言葉をちょっとずらして捉え実行している。作家、批評家、学者を問わず、その著作を読むだけより、その姿を見てどんな声でどんな話し方をするかを知ると、その後その文章を読む時に、内容が理解しやすい気がする。だから、できるだけ現場に出かけて、英語でも日本語でも、わかるにせよわからないにせよ (後者のことが多いが)、その人を見たい、声が聴きたいと思っている。そういう「耳学問」で理解を深めたい。私が今だにいろいろな学会やセミナーに出かける所以である。

この夏に札幌で開催された JACET 国際大会で大杉正明先生にお目にかかった。先生のNHK ラジオ講座は学生時代からずっと聴いていた。先生の使われる日本語も英語もとても心地の良かった。まさにその声は健在であった。直接先生とお話ができることが文句なく嬉しかったし、どこか緊張してうまく話ができなかった。冷や汗が出た。今は同じ英語教師として同僚扱いをしていただけるのがとてもありがたい。

そして、鳥飼玖美子先生。先生の声は今でもテレビやラジオで聴こえている。同時通訳をされていた頃からの心安らぐ声である。同時通訳に関する著作や英語教育についての文章は主張がストレートに伝わってくる。最近では日本の英語教育への危機感が高まり、その主張はだんだん強くなっているように思える。え、今年の JACET 関西支部秋季大会で基調講演をされるのですか? 「耳学問」をするチャンスがまたやってきた。先生の声の感触を得て、『国際共通語としての英語』や『本物の英語力』などの著作をまた読み返そう。秋の夜長に耳をすませて。

■2016 年度第 2 回支部講演会の報告■

JACET 関西支部 2016 年度第 2 回講演会（リーディング研究会企画）が、2016 年 10 月 15 日（土）に同志社大学今出川キャンパスで開催されました。

演題：「アメリカのバイリンガル教育から日本の英語教育が学べること」

講師：長谷 尚弥先生（関西学院大学）

講演には 32 名の参加があり、質疑応答・討論では、講師の先生と参会者との議論が展開され、その後の茶話会でも楽しい会話が弾みました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The second Lecture Meeting of the 2016 academic year was held on October 15th at Doshisha University Imadegawa Campus, with 32 participants. After the stimulating presentation, there was an active discussion among the speaker and the participants, and one-hour tea party took place in a friendly atmosphere.

Title: “What EFL Teaching in Japan Can Learn from Bilingual Education in the USA”

Speaker: Professor Naoya Hase (Kwansei Gakuin University)

■2016 年度関西支部秋季大会のお知らせ■

2016 年度関西支部秋季大会を 11 月 26 日（土）に関西外国語大学中宮キャンパスにて開催いたします。是非お出かけください。お会いできることを心より楽しみにしております。

秋季大会は「スピーキング」をテーマに、岡田 伸夫先生（関西外国語大学）の特別講演「文法がスピーキングに役立つのはどこまでか」、鳥飼 玖美子先生（立教大学名誉教授）の基調講演「『英語で話す』とは、どういうことか」、金丸 敏幸先生（京都大学）のワークショップ「人工知能による長期的スピーキング能力測定」を予定しています。その他、研究発表、実践報告、コロキウム、ポスター発表なども多数行われる予定です。詳細につきましては同封の秋季大会プログラム又は、JACET 関西支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org/>) をご覧ください。

2016 Kansai Chapter Fall Conference

The 2016 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held on Saturday, November 26th at the Nakamiya Campus, Kansai Gaidai University, featuring presentations,

workshop and talks in various areas of English education. We look forward to meeting you all.

-Workshop “Long Term Assessment of Speaking Proficiency with AI” KANAMARU, Toshiyuki (Kyoto University)

- Special Talk “To What Extent Does Grammar Support Speaking?” OKADA, Nobuo (Kansai Gaidai University)

- Keynote Lecture “What Does It Mean to ‘Speak English?’” TORIKAI, Kumiko (Emeritus Professor at Rikkyo University)

Refer to details at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>). Come and share your work with the JACET community!

< 秋季大会懇親会 事前申込みのお願い >

◆◆◆懇親会参加費は事前申込みの上、当日支払い
でお願いします。◆◆◆

日時・時間：11月26日（土） 18:30-20:30

場所：アマークド・パラディ(イタリアンレストラン) ICCセンター1階（大会会場内）

懇親会の事前申込を御希望の方は、

1) 氏名 2) 所属
を明記のうえ、件名を「JACET 関西支部懇親会事前申込」とし、必ず下記メールアドレスまでお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

(締切 11 月 16 日 (水) 申込先 : 増田
(masuda41@cc.kyoto-su.ac.jp)

懇親会費：事前申込：5,000 円（飲み放題） 当日申込：6,000 円。

懇親会会費のお支払い方法：大会当日、受付にてお支払いください。

Reservation for Reception

Conference party: Nov. 26 Saturday, 18:30-20:30.

Venue: Hamac-de-Paradis ICC at the Conference venue.

Make a reservation sending an email message entitled [JACET Kansai Conference Party Reservation] with your name and affiliation to masuda41@cc.kyoto-su.ac.jp by November 16. Pay the 5,000 yen fee on site. Payment at the door without reservation: 6,000 yen.

■第3回 JACET 関西支部講演会■

第3回：2017年3月11日（土）

＜学習英文法研究会企画＞

場所：大阪電気通信大学 駅前キャンパス 1階
101 多目的ホール

（京阪「寝屋川市駅」より徒歩3分。詳細は、
（<http://www.osakac.ac.jp/institution/campus/access/#neyagawa> をご覧下さい。）

司会：吉田 幸治先生（近畿大学）、
山本 修先生（大阪市立大学）

演題：「規範と英語の実態－動詞補部を中心に」

講師：住吉 誠先生（摂南大学）

概要：従来の英文法での動詞補部の扱いを見ると、「enjoy は 動名詞をとる、to 不定詞はとらない」、「hope は to 不定詞をとる、動名詞はとらない」「forbid は that 節をとらない」といったように、ある動詞がある補部を従えるのか・従えないのかという問題は、つねに可能性がゼロかイチかというデジタル的な発想で捉えられてきた。伝統的な規範でもそうであったし、理論的な言語学者の非文に関する判断でもそうであった。しかしながら、補部を取る動詞をひとつひとつ取り上げてデータを観察すると、ある動詞がそれまでとらないとされてきた補部を従えている例に出くわすこともそう珍しいことではない。このような英文法の記述と英語の実態の齟齬は、英語が歴史的に変化しているということ、従来の英文法研究が多様な現代英語の姿をとらえきれていないということなどにその原因を求めることができる。本発表では *nod/express* といった動詞や、*disagree/assist* といった動詞の補部を仔細に観察しながら、「…といった使い方は不可」といったような規範の呪縛から解放された現代英語の多様な姿を、動詞の補部に見てみたいと思う。

使用言語：日本語

- ※ 参加費：JACET 会員は無料。非会員は 500 円。
- ※ 講演会終了後に茶話会（参加費 500 円 ノンアルコール 1 時間程度）を開催しますのでご参加下さい。
- ※ 事前申し込みの必要はございません。

- 3rd Lecture Meeting by the special interest group for Pedagogical English Grammar on March 11th, 2017, at Hall 101, Campus in front of the Station in Osaka Electro-Communication University,.
（ <http://www.osakac.ac.jp/institution/campus/access/#neyagawa> ）

Title: Prescriptivism and Authentic English in Use: In Cases of Verb Complements

MCs: Koji Yoshida (Kinki University), Osamu Yamamoto (Osaka City University)

Lecturer: Makoto Sumiyoshi (Setsunan University)

Abstract: A traditional approach to English verb complements, whether in conventional prescriptivism or theoretical linguistics, does not fully capture their diversity as observed in authentic English in use, because such an approach assumes that grammatical research can be done in a discrete way through the discussion that a particular verb can or cannot be followed by a particular type of complement. However, empirical data often show that a particular verb can take a complement pattern which has been judged to be unacceptable by linguists or grammarians. This kind of gap between what is written in conventional English grammars and English usage is observed because the language has always been in a state of change and has been “emancipated” from prescriptivism for various reasons, including historical ones. In my presentation, I would like to point out such diversity observed in Present-day English, dealing with the complement patterns of the verbs such as *nod*, *express*, *disagree*, *assist*, etc. They have been judged to be unacceptable or ungrammatical when used with a particular type of complement, which can be refuted by authentic data. English complement patterns constitute an interesting research area which mirrors the diversity of Present-day English.

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

Refer to details at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

* お詫び

NL 第 75 号におきまして、第 3 回講演会の日付を 2017 年 3 月 4 日（土）としておりましたが、3 月 11 日（土）の誤りでした。謹んでお詫びします。なお現在 HP にアップしている NL 第 75 号では修正された日付になっております。

また講演会場についても当初予定より変更しておりますので、お間違いのなきようご注意ください。

■事務局便り■

10月始めに全ての会員の皆さまのお手元に本部事務局から「社員選出のための推薦のお願い」の文書が届いたと思います。これに基づき自薦・他薦を問わず、本学会の「社員」にふさわしい方をご選出いただいたことにお礼申し上げます。ご推薦を踏まえ、600名を超える会員数を誇る関西支部からは20名の社員が選出されます。12月に「社員選出に関する公示」を行い、「異議申し立て期間」を経て、来年に入ってから「社員の選出結果公表」となります。選出された先生方には、来年度から2年間にわたり本学会の「社員」にご就任をいただきます。「社員」の任務は学会員としての役割の一つなので、決定されると拒否はできないことが前提です。よろしくお願いいたします。

■ 会員情報の変更 ■

支部会員向けの各種案内の配送やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変更された方は、必ずご連絡ください。

事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACETへお届けになっているメールアドレスをご確認ください。

—————・—————・—————・—————
紀要、講演会案内フライヤー、ニューズレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、今一度ご確認ください。

なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局 (jacet@zb3.so-net.ne.jp) までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers or other personal information to **JACET headquarters** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).